

四條畷学園短期大学 FD・SD 研修会

「生成AIと教育

ー歴史を鑑み、未来を展望するー」

【日時・場所】

2025 年 2 月 15 日(土) 13:30-14:30
四條畷学園短期大学 清風学舎 202 教室

【概要】

我が国では、1970年代よりコンピュータの教育利用について議論が開始されました。その後、いくつかの技術革新が、教育に新たな影響を与えてきました。

本研修会では、それらの歴史を概観するとともに、2022年以降の生成AIの本格的な登場が、教育にもたらすブレークスルーについて考えてみたいと思います。

【講師】

黒田 恭史 先生

京都教育大学 教授

【経歴】

大阪教育大学卒業。大阪教育大学大学院修士課程修了。大阪大学大学院博士後期課程修了。博士(人間科学)。大阪府内の公立小学校勤務8年の後、佛教大学専任講師、助教授、准教授、教授を経て、現在、京都教育大学教育学部教授。京都教育大学では、小学校教員養成、中・高等学校(数学)教員養成に従事。近年の研究テーマは「数学教育と脳科学」の学際的研究。

小学校勤務時代、クラスで豚を飼うといった取り組みを3年間実践。フジテレビ「今夜は好奇心」にて1993年7月放映。第17回動物愛護映画コンクール「内閣総理大臣賞」受賞、第31回ギャラクシー賞テレビ部門「ギャラクシー奨励賞」受賞。

著書に「豚のPちゃんと32人の小学生」(ミネルヴァ書房)、「脳科学の算数・数学教育への応用」(ミネルヴァ書房)、編著に「数学科教育法入門」(共立出版)などがある

2024 年度 FD・SD 研修会 受講アンケート

今後の FD・SD 研修会の改善に向けて、ご意見・ご感想等をお聞かせ下さい。

ご所属

お名前

①今回の研修会は授業や教育、業務の改善に役立つ内容でしたか。

大変役に立つ ・ 役に立つ ・ あまり役に立たない ・ まったく役に立たない

②①の理由について、お聞かせ下さい。

③FD・SD 研修会で取り上げてほしいテーマ、内容等のご要望があればお書き下さい。

以上

2024 年度 FD・SD 研修会 報告

テーマ： 生成 A I と教育 ―歴史を鑑み、未来を展望する― ※対面研修

日時： 2025 年 2 月 15 日（土）13：30～14:30

場所： 清風学舎 202 教室

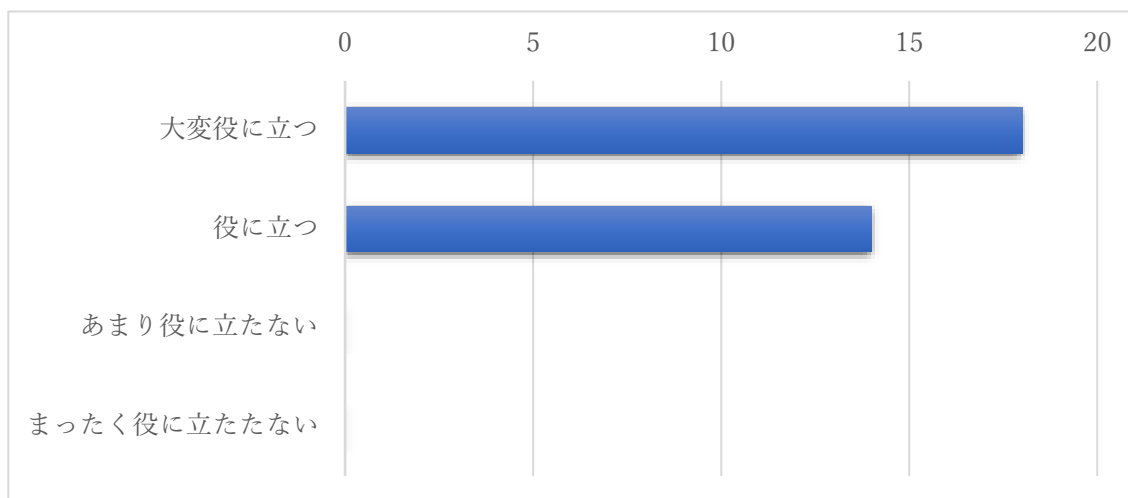
講師： 黒田 恭史（京都教育大学）

参加： 教職員 32 名

アンケート提出： 32 名

【受講アンケート集計結果】

①今回の研修は授業や教育、業務の改善に役立つ内容でしたか。



②①の理由について、お聞かせ下さい。（抜粋要約）

【大変役に立つ】

- ・生成 AI の教育利用は教育内容やシラバスのみならず、教育のモダリティにも大きな変化を与える可能性があるため
- ・生成 AI をどのように教育に活用するのか、非常に分かりやすく教えていただき可能性を大いに感じた。教育を支援するにあたり、自身が AI を活用するのは難しいが、よりよい教育を目指していくための考え方のヒントを得られた。今後、入学してくる学生達がどのような環境で教育を受けてきたのかをふまえて授業を改善していきたい。
- ・コンピュータ教育の利用について、教育現場がどのように改善されていけば良いのか、具体的にお話が聞けて良かったです
- ・生成 AI に対する姿勢について理解することができました
- ・大変分かりやすくご説明をいただきました。教育とのかかわりがテーマだったため、学生のためにどう活用できるかということを考えるきっかけになりました。
- ・受けた事のない分野の研修だった
- ・AI を活用した授業コンテンツを使用したいと思っていたので、今回の研修を参考にさせていただきたいです。

【役に立つ】

- ・今の子ども達の教育環境、便利な世の中になっても作り上げているのは人間、AI を育てているのも人間
- ・AI が人間を超えるのが現実になりそうで聞いていて少し怖くなった。
- ・AI や ICT の今日までの歴史的な流れを分かりやすくご教授頂けたからです。願わくは、研修内容のウェイトを生成 AI に置いたお話を聞かせて頂ければと思いました。
- ・生成 AI の現状や利用方法について具体的にご教示いただけてありがたかったです。「学習者自らが獲得すべき能力」と AI の「能力」をふまえて明確化することは大学での課題設置、出題の仕方とも関わるので喫緊の課題だと感じています。
- ・同時翻訳は現場での海外ルーツの子どもや保護者と関わる際に有効だと感じた。教育の中で具体的に AI を導入する方法、実践について考えていきたい
- ・欠席する学生に対して「動画」(ユーチューブ) の発信によって、学習内容が補えていくことなど多くの活用法を学びました。欠席者、また多国籍の学生など多様な背景をもつ学生にも様々な ICT の活用によって効果的に学びを進めていけるということを理解すると共に、自分自身が生成 AI について知識を深めていく必要がある事も痛感いたしました。
- ・生成 AI の活用は、自分自身の知識不足もあり、全く活用できていない現状であるが、本日の研修会を通して教員の活用の仕方次第で、学生の学びの幅が広まることが十分に理解できた。

③FD・SD 研修会で取り上げてほしいテーマ、内容等のご要望があればお書き下さい。

- ・地域貢献、地域共生等今後地域とどうかかわっていくかをテーマに取り上げていただきたい
- ・発達障害についての学習をしたい
- ・AI 時代のレポート課題のあり方・自己点検・自己評第四タームの評価基準について
- ・(今回と) 同じような ICT の活用や AI の活用についての研修
- ・合理的配慮について
- ・今回の黒田先生のご講義の発展として、ICT や AI 技術を用いた教育方法や学生に応じた学びの提供を考えるような内容(ワークショップ) を学んでみたいと思いました。研修を自身の授業に生かしていきたいです
- ・保育現場での ICT 活用について研修したい
- ・児童虐待の現在の状況を詳しく知りたいです
- ・幼児教育と絵本、幼児教育と外国語・外国文化、発達に問題を抱える子どもたち(特にコミュニケーションの面)
- ・引き続き IT に関係する内容
- ・引き続いて AI 関連のテーマをお聞きしたいです。
- ・ぜひ本日の続きの研修会などをお願いします
- ・実際に AI を使った事例やコンテンツ、オススメアプリなどを具体的に聞いてみたいです
- ・生成 AI と著作権・教育教材と著作権
- ・なわてドリル活用状況について

以上